

## 大会開催のご挨拶

大会長 青野 展也

第 25 回日本臨床エンブリオロジスト学会ワークショップ・学術大会を 2020 年 1 月 11 日（土）・12 日（日）に国際医療福祉大学 東京赤坂キャンパスにて開催することになりました。2020 年東京オリンピック・パラリンピックの記念すべき年に同じく東京で開催できることを光栄に思います。ここに衷心よりご挨拶並びにご案内を申し上げます。

今回の大会テーマは「一緒に探そう！ 未来の ART」です。これからの ART は私たちの目だけに頼った形態的な胚選択だけではなく、AI を用い胚の発育過程を基にした評価法や PGT による染色体解析が進み、幹細胞からの卵子・精子の作出、胚凍結や顕微操作などラボ技術の自動化など、色々な技術が近い将来に当たり前になっていくものと思われれます。現状の技術を磨くのと並行してこれからの ART の進むべき道を皆様と一緒に探していければ幸いです。

第一日目のワークショップは毎年好評を頂いております、実技講習およびシニアエンブリオロジスト向けのセミナーを行います。実技講習では c-ICSI や Piezo-ICSI、受精卵・卵子凍結、PGT を想定したバイオプシー、TESE 操作、卵子ハンドリングなどの基礎操作コースなど、これから技術を学ぶ方および更なる技術向上を目指す方を対象に行います。シニアコースはラボ運営等、疑問や悩みが多い事項について少しでも解決に繋がるような内容を考えております。

第二日目の学術大会では大会テーマに沿った未来の ART を垣間見る内容を盛り込む予定です。一般演題発表も行います。初心者大歓迎です。多くの医師や研究者が参加する他の学会での発表の前に、参加者の多くがエンブリオロジストであるこの学会で発表を行ってみませんか？

オリンピック開催まで半年となり盛り上がりを見せている東京の地で、沢山の方々とお会いできることを楽しみにし、ご挨拶に代えさせていただきます。